

学力アップにオタスケマン!

角館キッズ学び教室

7月24日と25日、19年目を迎えた第35回の「角館キッズ学び教室」が角館交流センターで行われ、市内外の小・中学生94人が参加しました。
この教室は「楽しい学習オタスケマンの会（草薙稔会長）」が子どもたちの自学自習を支援しようと、毎年、夏・冬の長期休みに開催しています。
両日とも、現職や退職した先生、市民などの「オタスケマン」と角館高校生6人による「フレッシュオタスケマン」の28人の皆さんが、子どもたちの数々の質問に丁寧に分かりやすく答えていました。



問題を解いていて、行き詰まったらオタスケマンが分かりやすく教えてくれます。

温泉の知識について学ぶ

温泉浴マイスター人材育成講座



温泉の知識と正しい入浴法について学びました。

7月26日、温泉浴マイスター人材育成講座（主催／仙北市温泉療養研究会 会長 西明寺診療所所長 市川晋一）が、西木温泉ふれあいプラザクリオンを会場に開催され、ケアセンター南昌センター長の吉岡尚文先生を講師としてお招きし、温泉の泉質や効用、安全な入浴方法などについて分かりやすく講演いただきました。
会場には受講者22人が集まり、講師のお話にもメモを取りながら真剣に聞き入っていました。
最後には認定試験が行われ、受講者全員に温泉浴マイスター認定証が交付されました。

第49回たざわ湖・龍神まつり
八郎太郎と辰子姫の
出合いを再現

7月27日、第49回たざわ湖・龍神まつりがたざわ湖・白浜おまつり広場を会場に開催されました。今年は、動画配信サービス「ニコニコ動画」主催の全国各地の夏祭り会場などで生放送でインターネット配信を行う「ニコニコ町会議」も同時開催され、約7300人が訪れました。

会場にはたくさんの方々が来店し、ステージでは生保内小学校金管バンド部の演奏をはじめ、騎士竜戦隊リュウソウジャーやキャミソウルブラザーズ、田沢湖龍神太鼓保存会の皆さんによるパフォーマンスが行われました。
辰子姫伝説にちなんで2体の龍みこしを担ぎ演舞する「双龍の出合い」では、秋田大学の学生・留学生と一般参加の約50人が担ぎ手となり、八郎太郎と辰子姫の出合いを再現しました。

担ぎ手で参加した秋田大学の竹本創さんは「龍みこしは思ったより重かった。龍が湖に入ったときにちょうど後ろが夕焼けで景色がとてもきれいだった」と話してくれました。
最後は湖から打ち上げる花火大会でお祭りを締めくくりました。



八郎太郎と辰子姫の出合いを再現した「双龍の出合い」。湖に映える夕日を背に幻想的な光景が広がります。



八郎太郎と辰子姫に扮した鈴木佑真さん（左）と崎華歩さん（右）。

バドミントン
県大会で活躍、東北大会へ



県大会に出場した市内スポーツ少年団の選手たち。

7月28日、第25回東北小学生バドミントン大会秋田県予選会が由利本荘市のナイスアリーナで行われ、市内スポーツ少年団の選手が活躍しました。

10月に同じ会場で開催される東北大会には、次の選手が出場します。（敬称略）

4年生以下男子ダブルス 4位 高田愛夢（生保内小4年）・山崎康平（角館小4年）

6年生以下男子ダブルス 4位 船山宗能（神代小6年）・石垣暖人（角館小5年）

6年生男子シングルス 3位 三浦剛貴（生保内小6年）

夏休みの恒例行事
玉川ダム交流会



ダムの説明を熱心にメモを取る児童たち。

7月25日、他校との交流を深めながら玉川ダムの役割や森の大切さを学ぶ玉川ダム交流会が開催されました。この日参加したのは市内の小学校7校と中仙小学校（大仙市）、中通小学校（秋田市）の4年生231人。

午前には玉川ダムの施設を見学し、スタッフの説明を熱心にメモを取りながら聞いていました。午後には、実験や体験、工作ができるコーナーで楽しんだほか、他校の生徒と名刺交換をして友だち作りをしました。

1番の盛り上がりを見せた綱引き大会は、班対抗のトーナメント戦で行われ、見事生保内小学校が優勝しました。

最後のお別れの会で西明寺小学校の伊藤恵美夏さんは「〇×クイズや綱引きも楽しかった。地下もとても涼しくて気持ちよかったです。これから水を大切にしていきたい」と話してくれました。

おいしい野菜はいかが？
大曲支援学校せんぼく校が野菜販売

7月16日、市立角館総合病院正面玄関付近で、大曲支援学校せんぼく校の生徒による野菜販売が行われました。
4月頃から栽培を始め、実り実ったナスやオクラ、ブロッコリー、ミニトマトの生野菜のほか、加工品の販売も行われました。
加工品は菊芋の酢漬とビール漬、大根の柿漬と糠漬の4種類が販売され、高等部の8人の生徒たちがお客さんとの対話を楽しんでいました。
多くの方々においでいただき、ありがとうございました。



訪れた方々とコミュニケーションを取りながら野菜を販売する生徒たち。

新しい民生委員・児童委員を紹介しします



赤石・堂田・四十程・野村地区担当
田村美紀子さん ☎ 43 2677

7月1日付けで、厚生労働大臣から委嘱状が交付されました。
赤石・堂田・四十程・野村地区を田村美紀子さんが担当します。
地域の皆さんの福祉のため活動されますので、お気軽にご相談ください。

第32回全日本マウンテンバイク選手権大会 あきた/たざわ湖



19日にはE・マウンテンバイク、20日にはダウンヒル(写真上)とクロスカンントリー・エリミネーター(写真下)が行われました。

国内トップクラスの選手が競い合う

7月19日から21日にたざわ湖スキー場と秋田県立田沢湖スポーツセンターの敷地内を会場に、第32回全日本マウンテンバイク選手権大会が開催されました。

仙北市での開催は2008年以来の11年ぶり、令和になって最初の全日本選手権大会となります。マウンテンバイクは2020年東京オリンピックの正式競技にもなっており、今大会には国内トップ選手も多数参加しました。

選手たちは、特設コースで激しいレースを展開、21日に行われたクロスカンントリー・オリエンピック競技の男子エリートで優勝した山本幸平選手は2008年に田沢湖で全日本選手権が開催された際に初優勝しており、「田沢湖という場所は私にとって特別な場所です」と話しました。

第14回仙北市長杯争奪野球選手権大会

7月21日と28日の両日、第14回仙北市長杯争奪野球選手権大会が落合野球場で開催されました。

7チームが参加した今大会、両日とも晴天にも恵まれ、1回戦から白熱した試合が展開されました。

決勝戦は、優勝回数も多い「今光学」(角館地区) チームと勝てば初優勝の「瀧神巧業」(角館地区) チームとの対戦になりました。中盤までは双方が譲らない僅差の試合展開でしたが、最終回に突き放した「瀧神巧業」チームが5対4で勝利し、初優勝を飾りました。

個人賞は次のとおりです。(敬称略)

最優秀選手賞 千代勲太(瀧神巧業)
優秀選手賞 藤井直也(今光学)
敢闘賞 齋藤達也(瀧神巧業)



見事初優勝を飾った瀧神巧業の選手たち。

第68回秋田県中学校総合体育大会 角館中学校の生徒が大活躍

7月13日から15日にかけて行われた第68回秋田県中学校総合体育大会で角館中学校の生徒が活躍し、7月23日に市長に報告に訪れました。今回報告に訪れたのは女子バスケットボール、柔道、水泳。

中でも女子バスケットボールは決勝戦で美郷中学校と対戦し53対39で13年ぶり10回目の優勝を果たし(うち8回は山本暢三校長と草薨宏之先生が監督を務め、共に4回ずつ優勝に導いています)、8月8日から10日に青森県青森市で行われた東北大会に出場しました。主将の戸村ふうかさんは「全県総体の時は、みんな最初は硬かったが、会場に慣れてくると最後まで集中してプレーできた。東北大会では自分たちの持ち味である走るバスケットボールをしてきた」と話してくれました。

また、柔道や水泳もそれぞれ8月に各地で行われる全国大会や東北大会に出場します。



前左から女子バスケットボールの田中美有さん(1年)、畠山咲来さん(3年)、戸村ふうかさん(同)、渡部涼空さん(同)、青柳紅愛さん(同)、草薨宏之監督。後列左から門脇市長、山本暢三校長、水泳の高橋陽さん(2年)、男子柔道の蒲生純翔さん(3年)、児玉讓二さん(同)、黒澤要さん(同)、コーチの戸澤敏之さん、熊谷教育長。

大会結果は次のとおりです。(敬称略)

【バスケットボール女子】優勝《東北大会出場》
【柔道 男子個人戦 55キロ級】優勝 黒澤要《全国大会・東北大会出場》
【柔道 男子個人戦 90キロ級】第3位 蒲生純翔《東北大会出場》
【柔道 男子団体戦】第3位《東北大会出場》
【水泳 女子100m バタフライ】第3位 高橋陽《東北大会出場》

アクアスポーツ少年団 水泳大会で優秀な成績



報告に訪れたアクアスポーツ少年団の皆さん。

7月25日、アクアスポーツ少年団(指導員/渡辺友康さん)の皆さんが、近頃開催された水泳大会において優秀な成績を収め、教育長に報告に訪れました。

長年、指導員を務める渡辺さんは「現在生徒数は75人。お互いに競い合いながら楽しんで活動をしている。みんな自己ベストを目指す向上心があっという間雲間気の中で頑張ってくれている」と話しました。

また、東北大会に初めて出場したという木元晴樹さんは「いつもより大会にいる人が多くて緊張した。隣の人に負けないように最初から本気で泳いだ」と。普段の練習について石川才稀さんに聞くと「先生はできないことにアドバイスをくれるのでやりやすい。大会の時にはバツクのスタートのコツを覚えてくれていい成績を残せた」と、話してくれました。

主な成績は次のとおりです。(敬称略)

【第3回秋田県小学生選手権水泳競技大会】女子50m背泳ぎ 第5位 木元ひなた(西明寺小6年)
男子100m背泳ぎ 第4位 木元晴樹(同4年)

【第42回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会・秋田県予選会】11歳50m背泳ぎ 第1位 木元ひなた(西明寺小6年) 10歳50m背泳ぎ 第2位 石川才稀(神代小5年) 9歳以下50m背泳ぎ 第2位 木元穂香(西明寺小4年)

【第45回東北ジュニア選手権水泳競技大会】10歳以下50m背泳ぎ 第5位 木元晴樹(西明寺小4年) 令和元年度大曲仙北中学校総合体育大会】女子100m平泳ぎ 第3位 木元凛咲(西明寺中1年) 男子自由形200m 第1位 男子自由形100m 第1位 三嶋弥千瑠(大曲中2年・神代小出身) 女子100mバタフライ 第3位 女子50m自由形 第5位 高橋陽(角館中2年)

秋田県消防協会

大仙仙北美郷支部消防訓練大会

7月13日、大仙市「大曲の花火」公園で、秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会が行われました。

当日は、2市1町の各大会で勝ち上がった上位分団が出場し、小型ポンプ操法と規律訓練で競い合いました。

仙北市からは、小型ポンプ操法の部に第4分団1班・3班、第5分団が、規律訓練の部には第1分団、第9分団、第10分団がそれぞれ出場しました。

仙北市の結果は次のとおりです。()は地区名。

▼小型ポンプ操法の部
第2位 第4分団1班(神代)
第3位 第4分団3班(神代)
第7位 第5分団(西明寺)

▼規律訓練の部
第5位 第9分団(雲沢)
第10位 第10分団(中川)
第13位 第1分団(田沢・高野・高原地区)



小型ポンプ操法の部で2位に入賞した第4分団1班。



小型ポンプ操法の部で3位に入賞した第4分団3班。

ギャラリートーク 草薙裕さんが 作品を語る



撮影の裏話などを語る草薙裕さん。

7月27日、角館町出身の写真家・草薙裕さんの企画展「草薙裕写真展一流転の水系一」のギャラリートークが角館町平福記念美術館で行われました。

草薙さんは、館内の各ブースごとに、展示されている作品の撮影までの経緯や撮影時のエピソードを交えながらそれぞれの作品への思いを語ってくれました。

また、草薙さんは「写真だけで

はなく、展示の仕方も工夫していて、各ブースで使用している紙を変えることで、表現の仕方を変えている。写真でしか見ることができない自然の美しさを見ていただければ」と話しました。

写真展は8月25日まで開催、空間作りにもこだわった草薙裕さんの写真展にぜひ足を運んでみてください。



門脇市長（左）からクニマスグッズを受け取る草薙裕さん・律子さん（右）。

7月25日、田沢湖クニマス未来館の観覧者数が5万人に達しました。5万人目となったのは、大仙市清水の草薙裕さん。妻の律子さんが、農業の仕事が一段落したので、「田沢湖を見たい」というご主人のリクエストに応じてドライブの途中に立ち寄ったそうです。入館した2人は、玄関口でクラッカーで迎えられた後、門脇市長から5万人目の感謝状と記念品のクニマスグッズが手渡され、市長の軽快なトークに圧倒されていました。草薙裕さんは「4月に新しく来たというクニマスを見たいと思ってここに入った。5万人目になってラッキーだと思う」と喜んでいました。市民の皆さまも、ぜひ1歳魚のクニマス18匹が群泳する様子をご覧にお出かけください。市民は無料で入館できます。免許証など住所が記載されたものを提示してください。

田沢湖クニマス未来館 観覧者5万人達成！



誰もが楽しめる「ゆるスポーツ」

小林裕高

こんにちは！突然ですが皆さんは「ゆるスポーツ」という言葉を聞いたことがありますか？もちろん造語ですが、世界ゆるスポーツ協会が独自に考案した新しいタイプのスポーツのことを「ゆるスポーツ」といいます。それは年齢・性別・運動神経・障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめるスポーツです。超高齢社会でスポーツ弱者が多い日本だからこそ生み出されたみんなのスポーツ。勝って嬉しい。負けても楽しい。足が遅くてもいい。背が低くてもいい。障がいがあっても大丈夫。それがゆるスポーツ。あなたの得意がきつと見つかります。

来た多くのお客さまに楽しんでもらいました。そのスポーツ名は「殿様ベースボール」といいます。打ち手と守り手が敵対チームではなく、味方だというのが特徴です。通常のベースボールは「打つ取る投げる走る」が基本ですが、殿様ベースボールは「打つ取らない投げない走らない」という基本ルールです。スポーツ弱者の皆さんにとって、ボールを投げることで、ボールをキャッチすること、ボールに当たるとは容易ではありません。「失敗」する可能性も高いです。それは楽しくないと思います。ですから、自分の考えた殿様ベースボールはいかに失敗を楽しめるかをルールに盛り込んでいます。文章だけではなかなか説明も難しいです（笑）。楽々観戦にいらしていたお客さまは楽しんでくれました。



殿様ベースボールを考案した小林さん。

願いをし、実際に使用した道具をお借りし、まずは子どもたちと楽しみたいと考え、大曲支援学校せんぼく校の先生と生徒さんたちとやってみることにしました。「殿様」と名が付くくらいなので、プレイヤーには「ちゃんまげヘルメット」を被ってもらいます。これだけですでに笑いがおきます。そして、いかにミス（失敗）を楽しむか？なので、プレイヤーは一生懸命ミスをしようと努力します。さらに笑いがおこります。勝って嬉しい。負けても楽しい。ゆるスポーツの考え方の基本です。

つながり・ふれあい 広がる仙北市 支え合いのまちづくり 市民公開講座



講演する志村さん。

7月26日、角館榊細工伝承館で市民公開講座が開催され、136人が参加しました。

講演は「安心して老後を迎えるために〜自分のためにできること〜」と題して、全国各地で現場に入り、地域づくりの実績を積み上げてきた岩手県花巻市在住の志村尚一さんが映像やデータを活用し、分かりやすい明日の実践につながるお話をしてくださいました。

仙北市包括支援センターでは、これからも「つながり・ふれあい」を広げる仙北市を目指して、支え合いの地域づくりに取り組んでいきます。

仙北市納税貯蓄組合 連合会総会

7月23日、田沢湖総合開発センターで、仙北市納税貯蓄組合連合会総会（高橋達会長）が開催され、今年度末に連合会を解散することが承認されました。これにより惜しまれながらも60年余の連合会の活動に幕を閉じることになりました。

- ▼優良組合表彰
先達野納税貯蓄組合・上男坂二納税貯蓄組合・十一会納税貯蓄組合・桂洲納税貯蓄組合
- ▼30年勤続組合長表彰
小原圭介（熊の林）
- ▼20年勤続組合長表彰
菊田順（赤平）・清水雄一（上鎌川）・今野則夫（西勝楽町二区）・照井榮治（雫田）・山本實（山谷）・武藤晴子（高屋上）
- ▼10年勤続組合長表彰
田口祐二郎（下中生保内）・三浦義幸（田向）・中嶋孝一（中町）・佐々木正作（下中川原）・橋本左武郎（山口）・堀加知美（佐曾田）・佐藤慶麿（西荒井上）

